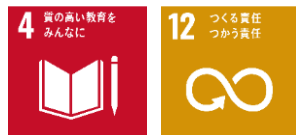


News Release



(別添)

2022年11月24日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

冬の火災は『ゼロ距離』と『ほったらかし』に注意！

～電気暖房器具は使う前に点検も！～

(東海 4 県版)

NITE (ナイト) が収集した電気暖房器具として、「こたつ」※¹と「電気ストーブ」※²の事故情報※³は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2017年度～2021年度までの5年間に合計49件あり、被害状況は、死亡7件(14%)、重傷4件(8%)、軽傷2件(4%)、人的被害を伴わない物的被害のみでは、拡大被害25件(51%)、製品破損11件(23%)となっています。また、49件中41件(84%)で火災※⁴が発生しています。

- (※1) 本資料では、電気こたつを指します。
- (※2) 本資料では石英管ヒーター、カーボンヒーター、シーズヒーター、ハロゲンヒーター、パネルヒーター、電気ファンヒーター、オイルヒーターなどをまとめて「電気ストーブ」と記述します。
- (※3) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。
- (※4) 火災は、消防により火災認定されているもの。

1. 電気暖房器具の製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に電気暖房器具の製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 電気暖房器具の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)※⁵

年度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
2017年度(平成29年度)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	7 (7)
2018年度(平成30年度)	3 (1)	2 (2)	2 (1)	2 (2)	9 (6)
2019年度(令和元年度)	2 (1)	7 (6)	3 (2)	2 (2)	14 (11)
2020年度(令和2年度)	4 (4)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	8 (7)
2021年度(令和3年度)	2 (2)	7 (6)	2 (2)	0	11 (10)
合計	12 (9)	20 (17)	10 (8)	7 (7)	49 (41)

(※5) ()内は、火災件数

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に電気暖房器具の製品事故の「県別」及び「被害状況別^{※6}」の事故発生件数を示します。

表 2 電気暖房器具の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※5}

被害状況 ^{※6}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	4 (4)	2 (2)	1 (1)	7 (7)
	重傷	1 (1)	2 (1)	1 (1)	0	4 (3)
	軽傷	1 (1)	1 (1)	0	0	2 (2)
物的被害	拡大被害	5 (5)	9 (8)	6 (5)	5 (5)	25 (23)
	製品破損	5 (2)	4 (3)	1 (0)	1 (1)	11 (6)
合計		12 (9)	20 (17)	10 (8)	7 (7)	49 (41)

(※5) () 内は、火災件数

(※6) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の月別 事故発生件数

図 1 に電気暖房器具の製品事故の「月別」の事故発生件数を示します。

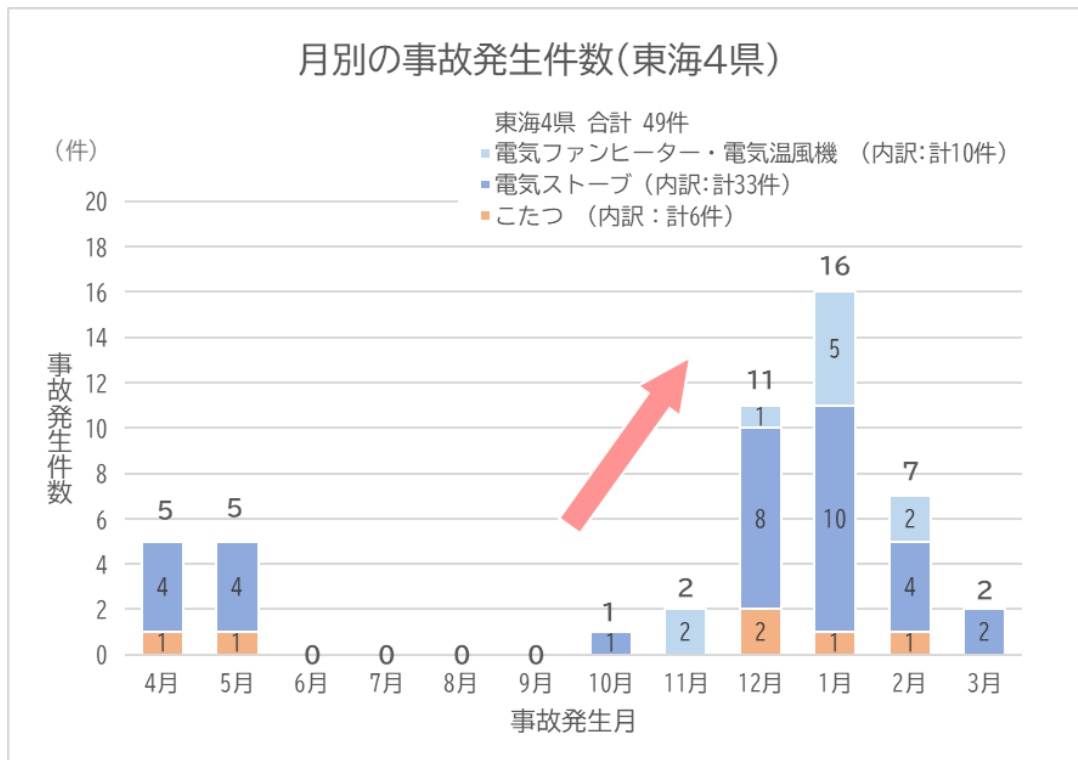


図 1 「月別」の事故発生件数

(4) 東海 4 県の品名別、被害状況別 事故発生件数

表 3 に電気暖房器具による「品名別」の「被害状況別^{※6}」事故発生件数を示します。

表 3 電気暖房器具の「品名別」の「被害状況別^{※6}」事故発生件数（単位：件）

品名	人的被害			物的被害		合計
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	
こたつ（ 6 件）						
こたつヒーター	1	0	0	1	1	3
電気こたつ【電気こたつ】	0	1	0	2	0	3
電気ストーブ（ 33 件）						
電気ストーブ	5	1	1	8	2	17
電気ストーブ（オイルヒーター）	1	1	0	1	3	6
電気ストーブ（カーボンヒーター）	0	0	0	4	1	5
電気ストーブ（パネルヒーター）	0	0	1	0	1	2
電気ストーブ（ハロゲンヒーター）	0	0	0	1	2	3
電気ファンヒーター・電気温風機（ 10 件）						
電気ファンヒーター（セラミックヒーター）	0	1	0	2	0	3
電気温風機（セラミックファンヒーター）	0	0	0	6	1	7
合計	7	4	2	25	11	49

(※6) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 電気暖房器具の製品事故の事故事例

(1) 電気ストーブ： 就寝中に使用していた電気ストーブ付近から出火。

2019年12月（静岡県、50代・男性、重傷（火災））

【事故内容】

使用中の電気ストーブ付近から出火して周辺を焼損し、やけどを負った。

【事故原因】

電気ストーブを使用したまま就寝したため、布団が接触して発火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「就寝中は使用しない。布団等燃えやすいものの近くで使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 電気ストーブ（カーボンヒーター）：リコールされている電気ストーブから出火。

2018年1月（静岡県、年代不明・性別不明、拡大被害（火災））

【事故内容】

電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、電気ストーブ（カーボンヒーター）及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

電気ストーブ（カーボンヒーター）の配線の結線不具合により端子接続部の接触抵抗が増加して発熱し、発火に至ったものと推定される。

なお、事業者は、事故の再発防止を図るため、2006年（平成18年）2月6日及び同年11月14日付けの新聞並びに同社ホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。

事故品・事例を確認

一般消費者用検索ツール「SAFE-Lite」のご紹介

NITEはホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite（セーフ・ライト）」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称（製品）に関連する事故の情報が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojohou/safe-lite.html>

3. 製品事故の実験映像等について

製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ“nite”」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所
支所長 浅井 幹夫

担当者：横山、横田

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902